

科目名	体育Ⅱ		科目コード 033
-----	-----	--	--------------

学年・学科等名	4 学年	全学科	必修科目
単位数・開講期	1 単位	後期	
総時間数	30 時間		
担当教員	小西 卓哉・木本 理可		

本校の教育目標	4	一般人文科の教育目標	4
---------	---	------------	---

JABEE関連	教育プログラム科目区分	
	教育プログラムの学習・教育目標	
	JABEE基準	

教科書名	なし
補助教材	プリント
参考書	ルールブック、各種目参考図書は図書館に用意してある。

A. 教育目標

さまざまなスポーツ種目の基本技術習得と経験を通して、生涯に渡って自主的に運動・スポーツ活動を実践する態度と能力を養成する。また合理的な運動学習によって社会性や公正な態度を身につけさせる。

B. 概要

卓球、バスケットボール、バドミントンの歴史・特性・マナー・ルール等を学び、基本技術を習得してゲームを経験し、自主的に練習やゲームを運営できるようにする。

C. 学習上の留意点

授業に際しては、安全面への配慮から必ず運動に適した服装で参加をすること。怪我の防止のために装飾品は外すこと。

集団スポーツにおいては、チームワークの大切さを理解し、チームでの役割を考えチームプレーを心掛けて積極的に参加をすること。

個人スポーツにおいては、勝利ばかりに固執するのではなく相手を尊敬し、認めたくえでゲーム運営ができること。

3種目の中からの選択とし第8週目に1回目の実技テストを実施する。第9週目に種目の変更を行ってもよい。最終15週目に2回目の実技テストを実施する。同一種目または2種目を選択した場合でも2回の実技テストのうち良い結果の方を評価の対象とする。

D. 評価方法

実技テスト、ゲーム・試合評価(70%)、取組度(30%)にて評価する。

E. 授業内容

授業項目	時間	内 容
1. バスケットボール(選択) (1)基本技術の練習 SKILL	2	基本技術を理解し、実践することができる ・ストップ・ターン・カット・ピボット ・パス(チェスト・ショルダー・バウンズ) ・キャッチ(ランニング・ジャンピング) ・ドリブル(8の字・左右) ・ショット(セット・ジャンプ・レイアップ)
(2)実戦プレーの応用練習 個人のSKILLから複数における SKILL 実践に向けてのステップ ハーフコートゲーム	4	基本技術を応用し実戦技術として活用することができる。 ・1:1 ・2:1 ・3:3

授業項目	時間	内 容
		<ul style="list-style-type: none"> ・パス(ミートパス・四角パス) ・フェイント ・トリックパス ・チェック・スチール
(3)実戦 ハーフコートゲーム ルールの理解 (実技テスト→個人のSKILLとゲームの中での評価)	8	<ul style="list-style-type: none"> ・身に付けた基本技術や実戦技術をゲームへの活用することができる。 ・ディフェンスの形態(マンツーマン・ゾーン)の理解 ・オフェンスの研究(いかにゴールにつなげるか?) ・レフェリーの経験(クラブ員のみならず初めての者も審判を経験してみる—それによりバスケットを他の角度から考えることが可能になってくる)
2. バドミントン(選択) (1)基本技術の練習 ハイクリア、ドリブン、ドロップ、スマッシュ、ヘアピン、サーブ シングルス(リーグ戦)	4	<ul style="list-style-type: none"> ・各種フライトを打ち分けることができる。 ・シングルのポジショニングができる。 ・ホームポジションを意識しながら、シングルのゲームができる。 ・安全に留意して練習やゲームができる。
(2)ダブルスのゲーム フォーメーション(トップ&バック、サイドバイサイド)、	6	<ul style="list-style-type: none"> ・各種フライトを状況に応じて使い分けることができる。 ・ダブルスのフォーメーションを意識しながら、ラリーをすることができる。 ・相手の陣型に応じて攻撃を組み立てることができる。 ・相互審判制でゲームの運営ができる
3. 卓球(選択) (1)基本技術の練習 ドライブ、ショート、カット、サーブ、レシーブ、スマッシュ	4	<ul style="list-style-type: none"> ・卓球の技術的特性がわかる ・卓球の基本的ルールが理解できる。 ・正しいグリップができる。(ペンホルダー、シェイクハンド) ・肘を中心にしたスイングができる。 ・各種打法ができる。 ・サーブ(フラット、カット)を出すことができる。 ・各種ストロークを用いてシングルのゲームができる。
(2)ゲーム ルール、審判法 ダブルス(リーグ戦)	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ダブルスのフォーメーションを理解し、実践できる。 ・ルールおよび審判法を理解し、相互審判制でゲームの運営ができる。

F. 関連科目

第1学年体育、第2学年体育、第3学年体育